

元東京秋工会副幹事長 田口芳美さんを偲ぶ

(昭和43年電気科卒)

第1回東京オリンピックの翌年、昭和40年4月に、故人である田口芳美さんと私、嵯峨良平は共に秋田工業高校の電気科に入学した同級生です。2023年10月16日に永眠した知らせを聞いて、驚くと共に寂しさに見舞われました。



当時の電気科は2クラス制で私と田口さんは別のクラスでしたが、何故か彼のことは良く覚えています。卒業してからは互いに交流もなく数十年が過ぎましたが、私が59歳の時に、東京秋工会同窓会の総会に初めて出席した時が再会でした。この時に私は時間を間違えて1時間ほど遅れて会場に着いたときに、田口さんが受付で待っていてくれました。そして「ドタキャンかな?と思った」と笑いながら迎えてくれました。その時に私に「東京秋工会の幹事にならないか?」とお誘いを頂き、定年間近ゆえ時間に余裕があるのではないかと思います「良いよ!」と答え、それ以来、幹事会議や種々の行事と一緒に参加することができ、親しく交流させて頂きました。



2010年春八海山ハイク 右上:田口氏

田口さんは多趣味で、東京秋工会の囲碁・釣り・ハイキング同好会を積極的に牽引されていました。私は囲碁ができないので、ハイキングと釣り同好会で一緒に遊ばせてもらいました。また東京秋工会を盛り上げるために、幹事会議や会報の編集に多大な提案や活動をして頂きました。

田口さんは博識で、特に山菜や植物には妙に詳しく、同窓生から工業高校ではあり得ない「秋田工業高校・園芸科卒」と揶揄されていました。

田口さんは高崎の私の別荘に数回来て宿泊したことがあり、山菜を採ったり、近場の山と一緒にハイキングをしたりして遊びました。ある日近場の浅間隠し山にハイキングをした時でした。いつもは見たことがない、足取りが重



2011年花見ハイキング 右端:田口氏

く苦しそうでした。聞けば持病の薬を飲むタイミングを誤ったとのこと。その時彼は何と缶ビールの栓を開けて、「吉と出るか凶と出るか?」とか言いながら飲んだのです。ビールで糖分補給を試みたようですが、結果はOKで何とか登頂できたのには驚きました。

また田口さんはお酒が好きで、私の別荘に宿泊した翌日に何と朝からビールを飲んでいたことがありました。私も酒が好きですが田口さんの真似はできず、横綱級の飲みっぷりには驚ろかされました。まさに鉄人でした。



2013年山菜採りの後のバーベキュー 右2人目:田口氏

田口さんは長らく東京の家と秋田の実家の行き来の生活で、亡くなったのは実家でした。亡くなった10月は私の金婚式だったのですが、聞けば翌年が金婚式だったとのこと。さぞかし無念のことだったでしょうが、安らかにお眠り下さい。

天国で再会するまで、しばし蓮台に座って待っててください。<合掌!>

<記事:嵯峨良平(昭和43年電気科卒)>